

# ゆいちゃんはシラタガリ!! 心はころころ? 星木レイ



# 浄土宗コドモタイムズ

**第62号**

発行  
浄土宗児童教化連盟

発行人  
三宅 明信  
〒833-0013  
筑後市北長田706-2  
林鐘院内  
TEL 0942-52-5524  
FAX 0942-54-1189

## 木もれ日

詩・絵 今井康隆

椿は冬に咲きだし日陰を好むという  
夕方、まだ明るい頃  
竹やぶに入ったら  
木もれ日が所々さしていた

サワサワ サワサワと風が吹いていて  
少し暗くなりだして  
スポットライトのように  
木もれ日がさしていて  
そこに、いっぱいやぶ椿が咲いていた

笹の葉がサワサワとゆれ  
椿の花がユラユラとゆれ  
木もれ日という  
太陽のめぐみを受けて  
サワサワ サワサワ  
ユラユラ ユラユラ、風が吹いていた



# いろいろな観音さま

観音さま (観音菩薩) という仏さまを知っていますか。

観音さまは三十三もの姿を持っています。人々の色々な願いにこたえるうちに多くの姿に変化するという

仏さまになったのです。

観音さまの正式な名前は「観世音菩薩」といい、世界の人たちの音声を観じて、苦しみから救ってく

ださる仏さまという意味です。

では観音さまにはどんな種類があるのか紹介していきます。

## 3

### のん 観 頭 馬

頭の上に馬の顔をいただく観音さまです。観音さまにはめずらしく憤怒：怒りの表情をしています。第三の目を持ち、三つの顔で腕は二本または八本持っています。

怒りが強いほど人を救う力が大きく、人々の悩みや苦しみを食べつくすといわれます。

昔から馬や家畜の健康や安全を祈る観音さまとしても信仰されてきました。馬や牛などは人間にとってなくてはならない大切な動物です。自動車のない時代には馬が移動手段として活躍しましたし、旅の道中の安全を祈るため、道端に多くの馬頭観音がまつられました。

また機械のない時代に牛は農家にとって大事な力強い働き手でした。

馬頭観音は少し変わった姿の観音さまですが、人間にとって身近な仏さま

まだといえます。



## ナムナム 質問箱

髪の毛がアフロになっっている仏さまがいるのですか。

(福岡 小5 女子)

はい、五劫思惟阿弥陀仏という仏さまです。仏さまの頭は螺髪というちぢれて右巻きでらせん状の髪の毛をしています。

法蔵菩薩が五劫というきわめて長い間の修行の末に阿弥陀仏という仏さまになられました。五劫の「劫」というのは時間の単位で、四〇〇里四方の岩を一〇〇年に一度

# 予言獣

予言獣とはどこからともなく突然現れて、これから起こる病気や災害などの出来事を予言する妖怪など異形の存在のことで、多くは海岸などで目撃されるようです。

新型コロナウイルスの流行によって予言獣が注目されました。全国各地でさまざまな予言獣が存在します。

## ③ くだん

くだんは「件」と書き、頭は人間で体が牛の妖怪です。頭が良くて人間の言葉を理解し、生まれるとすぐに人間の言葉で予言を行い、言い終えるとすぐに息絶



えますが、その予言は必ず当たるそうです。特に災害のある年にくだんが生まれるといわれます。

江戸時代の終わりごろから西日本の各地で目撃されたと伝えられます。時代により説が変化していきます。

くだんは突然出現するという説から、人間が飼っている牛から生まれるという説が広がっていきます。当時の瓦版(今の新聞)に「いなかでくだんが生まれ『今年から大豊作になるが、秋ごろから悪い病気が流行する』と予言し、三日で死んだ」とあります。これには「この瓦版を買って家内に張り厄除けにしてほしい」としてくだんの絵が描かれています。

布でふいて、岩がすり減っても劫は終らないとか、四方一由旬の鉄の城にぎつしりとつまったけし粒を、一〇〇年に一度一粒ずつ取り出していき、けし粒が完全になくなくても劫は終らない時間といわれます(諸説あります)。それが一劫なので、五劫となるともう想像つかないですね。

落語の「寿限無」に「五劫のすり切れ」が出てきますが、法蔵菩薩の修行の長さと同じだけ長命ということです。

五劫思惟阿弥陀仏は五劫という長い年月の修行の結果、髪の毛がどんどん高く広がってアフロのような髪型になった姿を表しています。



金戒光明寺 五劫思惟阿弥陀仏

これも仏教の言葉だよ!

「ぼうや・ぼっちゃん」

今はぼうや・ぼっちゃんという呼び方は聞かれなくなっています。男の子のことを親しみをこめて「坊」とか「坊や」「坊ちゃん」と呼びました。

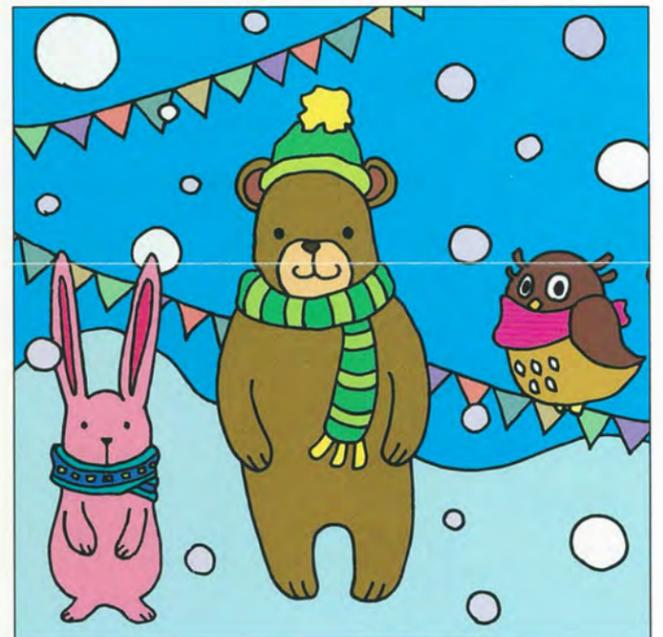
ぼうや・ぼっちゃんは坊の字が使われます。坊はもともとお坊さんの住む場所です。また「宿坊」といってお寺などで信者さんたちが宿泊するところを表します。坊に住む人を坊の主(ぬし・あるじ)、つまり坊主と呼ばれていて、決してさげすんだ呼び方ではありませんでした。

また暴れん坊や赤ん坊、朝寝坊というふうに、人のさまを表す言葉にもなりました。もつと昔には、小さな男の子が「これは坊のだよ」というふうに、自分のことをさしている言葉でもありました。



ちがいがし

みんなよう 考えよう



絵:岡本こずえ



前回の答え

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきり3月31日です。

送り先

〒833-0013 筑後市北長田706-2 林鐘院内 浄土宗児童教化連盟事務局 TEL 0942-5215524 FAX 0942-541189

お知らせ

みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

送先 〒833-0013 筑後市北長田706-2 林鐘院内 浄土宗児童教化連盟事務局 TEL 0942-5215524 FAX 0942-541189 感想もいっしょに書いてくださいね。

ぶくぶく編集室



新型コロナウイルスの感染予防で年中マスクをつける生活となりました。マスクにもいろいろな素材がありますが、その効果についてはまちまちのようです。

スーパーコンピューター「富岳」の実験結果によると、口から吐き出す飛沫量について不織布マスクの場合は8%おさえられ、布マスク70%、ウレタンマスク50%、フェイスマスク20%、マウスシールド10%おさえられたそうです。また吸い込む場合については、不織布マスクは3分の1の飛沫を吸い込み、布マスクは2分の1、ウレタンマスクは3分の2、フェイスマスク・マウスシールドは小さな飛沫に対して効果は無いそうです。この結果から感染リスクが一番低いのは不織布マスクのようです。一方でフェイスマスク・マウスシールドは感染のリスクはおさえられないようです。